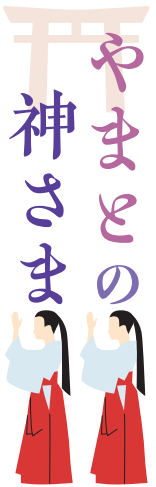




玉垣に囲まれたご神体の井戸―檀原市木之本町で



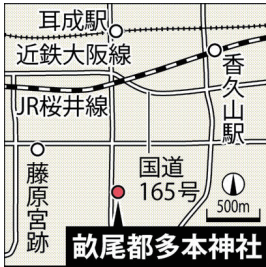
(住所) 檀原市木之本町1-14
 (祭神) 泣沢女神
 (交通) 近鉄耳成駅 徒歩約20分、
 JR香久山駅徒歩約20分

(拝観) 境内自由
 (駐車場) 無
 (電話) 0744・48・0155
 (天香山神社)

畝尾都多本神社 (檀原市)

畝尾都多本神社は藤原宮跡東側の檀原市木之本町にあります。大和三山の中で最も多く「万葉集」に歌われ、天降りついたと伝承されている天香久山の西麓に鎮座しています。

祭神は泣沢女神で、泣沢神社とも呼ばれます。本殿はなく拝殿の奥に玉



垣で囲んだ井戸がご神体として祭られています。

われています。

社伝では、江戸時代の

古事記によると、男神イザナギと女神イザナミの国生みの最後のとき、火神ヒノカグツチを生む際にイザナミが大火傷で死んでしまいました。妻を亡くしたイザナギが悲

国学者、平田篤胤が「この神は命乞いの神なり」と、本居宣長は「雨に通ずる水神」と記し、古代からの信仰を伝えてい

碑が境内にあります。「泣沢の神社に神酒すえ祈れども わご大君は 高日しらしぬ(命乞いの泣沢神社に祈ったけれど高市皇子は天に行ってしまった)」と万葉集で歌われています。

しみ泣き叫んだ涙から生まれたのが泣沢女神と言

また、飛鳥時代、高市皇子がしくなったときに松隈女王が詠んだ歌の

神話のイザナギの泣き叫ぶ感情や、松隈女王の嘆きなど、境内は豊かな感情や情緒が満ちあふれている気がします。

イザナギの涙 井戸がご神体

(奈良まほろばソムリ 工の会会員 福岡康浩)